

あいさつしっかり パネルで呼びかけ

直方の企業、上頓野小に寄贈

あいさつや学びの大切さなどを呼びかける大型の漫画パネルが、直方市の上頓野小(桑木てるみ校長、350人)に贈られた。体育館の壁に飾られたパネルは縦横ともに1・8メートルで、



「交通ルールを守ろう」などのメッセージとともに、元気な小学生が描かれている。

寄贈したのは同市の協和建設(谷口正晴社長)。工事現場の注意喚起のために漫画を活用しており、地元の自治会から「学校の教育にも活用できる」との提案があった。地域貢献の一環として、谷口社長の長男らの母校、上頓野小に贈ることになったという。

29日に桑木校長から同社に感謝状が贈られ、児童代表がお礼のあいさつをした。その一人で6年の本田渉君(11)は「漫画の呼びかけを高学年から低学年に広めたい」と話した。(外尾誠)